

加茂地区の世帯・人口

世帯数 2,397 世帯  
人口 4,920 人  
男 2,456 人  
女 2,464 人  
令和2年7月1日現在

# かも福祉だより

令和2年9月1日発行

第13号

発行者  
加茂地区社会福祉協議会

事務局  
吉沢学園交流棟  
市原市吉沢117番地

## 加茂地区敬老会 中止のお知らせ



## 皆様に記念品を！！ (75歳以上)

例年、9月の第4日曜日に行われていた加茂地区の敬老会は新型コロナウイルスの感染拡大の状況に鑑み、今年度はやむなく中止することになりました。皆様の健康を守ることを第一に考えると、3つの密（密集・密閉・密接）を避けることが難しい状況で、開催することは大変危険であるとの判断であり、どうかご理解いただけますようお願い申し上げます。つきましては、**加茂地区にお住まいの75歳以上の方に記念品をお贈りし、お祝いしたいと思っております。**

## 通いの場 事業

### 桜の会(高滝地区)

三々五々、連れ立って自治会館に向かっている熟女。軽トラックから降りた紳士。外部田「桜の会」の開始です。自治会館は3つの密（密閉・密集・密接）はありません。安心安全の空間です。

まずは、口の体操（おしゃべり）から、次は軽くストレッチ。いよいよ本番の『いちほら筋金近トレ体操』です。この体操は、3つの良い点があります。①筋肉を鍛える。②金が貯まる、体操して健康であればお金を使わない。③近場で気軽に体操ができる。インナーマッスルが鍛えられたことを実感して終了。ひたいに汗。ピンク色に染まった頬。みなぎる活力。楽しい2時間でした。

現在、月2回・会員15名で活動しております。今年度は地域おこし協力隊の先生のご指導を受けヨガに挑戦します。引き締まったボディー。盛り上がった筋肉?????……を目指します。来春の桜は、見事に咲くことを夢みて（ハハ♪♪）



### いちちょうの会(高滝地区)

私達、いちちょうの会は去年の4月に地域の特産である「ぎんなん」から名付け、女性25人の会員で発足しました。

最近地域でのコミュニケーションがなくなり、寂しさや不安を感じる事もあり、市原市の通いの場事業のきっかけは貴重なことでした。地域でのふれ合いをいろいろ模索しながら「笑顔で・楽しく・健康に」をモットーに毎月1回（10日）として頑張っています。

情報交換の場として、いいあんばい体操・脳トレ・近くのカトリア会との交流の中で、みなさんのお世話になりながら笑顔に支えられ、今、芽が出てつぼみから花を咲かすことが出来ました。

これからも、せっかくできた会なので多くの会員が気軽に参加できる会として大きな花が咲くよう願っています。



## “手作りマスク ありがとう”

新型コロナウイルスによりマスクが不足して大変な生活を送っていたところですが、加茂地区在住の方が手作りのマスク **「100枚」** を加茂地区社協に寄付していただきました。感謝申し上げます。



## おめでとうございます

長年の福祉に携わった功績に対し、天皇陛下より、吉沢学園に御下賜金が下賜されました。おめでとうございます。



長年の福祉に携わった功績に対し、天皇陛下より、根本貞夫顧問に春の叙勲で瑞寶単光章が授与されました。おめでとうございます。





# 災害に備えて



## 土砂災害の種類

土砂災害は大きく分けてがけ崩れ・地すべり・土石流の3種類があります。

### がけ崩れ・山崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる。日本で最も多い土砂災害で、人家の近くでも発生するため、逃げ遅れて犠牲となる人も多い。

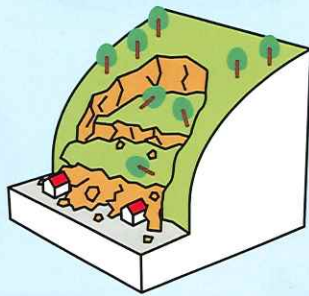


#### 主な前兆

- がけからの水がにごる。
- 地下水やわき水が止まる。
- 斜面がひび割れ、変形がある。
- 小石が落ちてくる。
- がけから音がする。
- 異様なにおいがする。

### 地すべり

脆弱な地質の土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が地下水の影響と重力で下方へ移動する現象。一度に広範囲で発生するため、住宅や道路などに大きな被害をおよぼす。

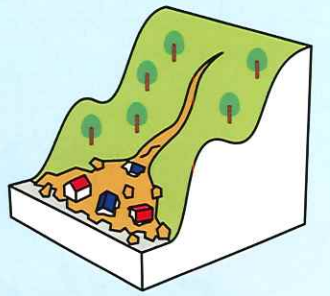


#### 主な前兆

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにごる。
- がけや斜面から水がふき出す。
- 家やよう壁に亀裂が入る。
- 家やよう壁、樹木、電柱が傾く。

### 土石流

谷や斜面にたまった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出す。強大な威力と圧倒的なスピードで、進行方向にあるものを次々とのみ込み、破壊させていく。



#### 主な前兆

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 川の水がにごったり、流木が混ざったりする。

## 集中豪雨

### 注意・準備

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意をする。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持ち出し品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 浸水に備えて家財道具は高い所に移動する。
- 飲料水や食料を最低でも3日分、できれば1週間分確保しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。



## 水害時の心得



### 被害の軽減

- 「土のう」や板などの準備



### 避難の呼びかけに注意を

- 防災無線や広報車などの呼びかけに注意



### 避難の前に確認を

- 電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、戸締りの確認を



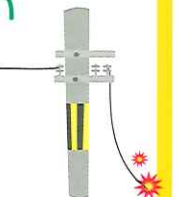
### 避難所までの移動

- 風雨が激しくなる前に早目の避難を(車両か徒歩)
- 浸水の恐れがあるときは出来れば徒歩で



### 危険なところには近寄らない

- 切れた電線、氾濫水には注意を



### 動きやすい格好で

- 動きやすい服装、軍手、ヘルメット、履物を選んでおこう



### 水面下は危険 2人以上で非難を

- 長い棒を杖がわりにして側溝、マンホール等の安全確認を



### 小石が落ちてくる



## 加茂地区社会福祉協議会賛助会員へ加入のお願い

少子・高齢化や核家族化などが進行し、高齢者世帯や独居世帯などの増加により、地域には複雑かつ複合的な生活課題を抱えたまま生活を送っている方々も増えております。

今後、ますます増大する福祉及び生活問題に対応していくためには「地区社協」としてできるだけ多くの自主事業費を確保する必要があります。そのためにも賛助会費は大切な財源です。

皆様にはこのことをご理解いただき「加茂地区社会福祉協議会賛助会員」としてご支援・ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

これからも加茂地区独自の力で高齢者の集いの場として「加茂地区敬老会」「いきいきサロン」を続けていこうと考えております。

1. 賛助会費 年額 一口 1,000円 (口数は問いません)

\* 問い合わせは加茂地区社会福祉協議会役員及び理事にお願いします。

